

助成事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人 こどもの里
代表者・役職名 氏名 代表理事 荘保 共子

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

若者の居場所づくり事業

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

1977年に大阪市西成区のあいりん地区(釜ヶ崎)の子どもたちの遊び場「子どもの広場」として創設。後、1980年に「こどもの里」として新たな場所で開設される。遊び場から子どもたちと家族の相談の場、生活の場となる。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

家で過ごすことができない10代後半の若者たちがいます。居場所のない若者たちがいます。児童養護施設で不適応を起こした若者や少年院や鑑別所からの受け入れ先がない若者たちがいます。また、親がなくなったり、失踪したり、親との関係が悪化して家にいけない若者たちがいます。そんな若者たちを社会が養護しなければなりません。若者たちが“普通”に生活する場所が社会に必要です。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

ホームの住環境の整備をする。

- ・暖房器具(ガスファンヒーター)の購入
- ・PC マウス、USB の購入
- ・電子レンジの購入
- ・冷暖房の購入
- ・めざまし時計(入居者に支給する)
- ・扇風機の購入
- ・1F応接室のクロスの貼り替え
- ・本棚の購入
- ・玄関網戸の設置とセメント補修

ホームスタッフの労働環境の整備をする。

- ・事務所内に設置する4人用ロッカーの購入

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

冷暖房機や扇風機、ガスファンヒーターの他、玄関網戸の設置によって、暑い夏や寒い冬においても快適な生活環境を提供することで、学習活動や余暇活動など充実した生活を過ごすことができた。また、クロスの張替え、本棚の設置、目覚まし時計の購入によって、子どもたちが自主的に自分自身の生活を整える意識が高まった。事務室用のロッカーやPCマウス・USBを新たにし職員の労働環境の整備に努め、労働意欲を喚起することで、子どもたちへの支援の質を高めることができた。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

地域の中で“家庭で生活することが難しい若者たちが頼れる場所”としてあり続けていきます。若者たちが一般的に享受できること—学校へいくこと、仕事をする事、毎日ごはんを食べること、寝る場所が確保されていること、したいことをできる・聞いてくれるなど、を「あたりまえの権利」として保障していきます。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり ・ 特になし

購入した物品

ガスファンヒーター



冷暖房機



玄関網戸



事務所ロッカー



クロス張替え



目覚まし時計



本棚



扇風機



USB マウス



電子レンジ

